

不燃物処理後可燃残渣運搬業務委託 仕様書

1 業務名

不燃物処理後可燃残渣運搬業務委託

2 業務執行場所

東金市外三市町環境クリーンセンター外 2 施設

3 業務の目的

本業務は東金市外三市町清掃組合（以下「発注者」という。）の一般廃棄物処理事業に伴い発生する可燃残渣の運搬を委託することにより、一般廃棄物処理を効率的かつ衛生的に行うことを目的とする。

4 履行期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで（債務負担行為）

5 業務内容

発注者の一般廃棄物処理事業に伴い発生する可燃残渣を貯留するコンテナを可燃残渣の発生場所に設置し、コンテナに貯留された可燃残渣を定期的に運搬先まで運搬することを受注者に委託する。

(1) 運搬対象物

可燃残渣（ビン・ガラス類を選別する際に発生する可燃性の残渣）

(2) 発生場所

ア 有限会社千葉容器（山武郡九十九里町小関 1 1 2 3 番地）

イ 株式会社中屋總業（長生郡白子町北高根 2 7 2 5 番地 1）

(3) 運搬先

東金市外三市町環境クリーンセンター（東金市三ヶ尻 3 4 0 番地）

(4) 運搬経路

運搬先の周辺については、別添の図面にて指定した経路とする。ただし、何らかの理由で通行できない場合は発注者の指示した経路を通行するものとする。

(5) 貯留用コンテナの設置

ア コンテナは発生場所 2 か所に常時 1 つずつ設置する。

イ コンテナの大きさは長さ 4 m 以下、幅 2. 5 m 以下、高さ 2. 5 m 以下とする。

ウ 受注者はコンテナを発生場所の責任者が指示した場所に設置する。

(6) 運搬回数

運搬回数は原則として、発生場所ごとに月に 1 回とする。ただし、貯留用コ

ンテナが満載になり、支障が生じる場合には運搬回数を増やすものとする。

また、運搬日にどの発生場所から運搬先へ運搬するかについては、受注者が各発生場所の責任者と調整のうえ、運搬日の2日前までに発注者に報告する。

(7) 搬入時間

受注者が運搬先へ搬入できる時間は、原則として午前9時から午後4時までの間とする。ただし、午後0時から午後1時までを除く。

(8) 計量

運搬量の計量は原則として、運搬先の計量機で行うものとする。

6 着手時の提出書類

受注者は本業務の着手にあたり、次の書類を発注者に提出し、発注者の承認を受けなければならない。また、変更が生じた場合は、速やかに変更届を提出し、発注者の承認を受けなければならない。

- (1) 着手届
- (2) 業務主任技術者届出書
- (3) 業務工程表
- (4) 使用車両届出書（自動車検査証の写しと任意保険証券の写しを添付する。）
- (5) 業務従事者名簿
- (6) その他、発注者が必要と認めた書類

7 使用車両

- (1) 運搬に必要な車両及び運転手等については受注者が手配する。
- (2) 使用車両は原則として最大積載量が4,000kgを超えない車両とし、設置するコンテナを積載することのできる脱着装置付コンテナ専用車（脱着式ダンプ車）とする。ただし、使用車両の大きさは東金市外三市町環境クリーンセンターにおいて計量及び搬入が可能な大きさ（長さ6.5m以下、幅2.7m以下、高さ3m以下）とする。
- (3) 受注者は一般貨物自動車運送事業の許可を受け、使用車両は事業用ナンバー（緑ナンバー）とする。
- (4) 使用車両は、事前に使用車両届出書を提出した車両とし、「東金市外三市町環境クリーンセンター 委託車」と必ず明確に表示する。
- (5) 受注者は、故障等により運搬業務に支障を及ぼさないよう、使用車両の法定点検、日常点検、その他必要な点検を実施し、使用車両を安全に稼働させなくてはならない。
- (6) 受注者は運搬にあたり、常に使用車両を清潔に保ち、通行する道路周辺の住民に不快感を与えてはならない。

8 業務実施に関する注意事項

- (1) 可燃残渣の積み込みは、発生場所の作業員が行う。
- (2) 受注者は運搬中に可燃残渣が飛散しないようにシートで搬出物を覆う等の措置を講じる。万一、飛散等が生じた場合は直ちに回収及び清掃等を行う。
- (3) 受注者は従業員に対し安全衛生教育等を行い、事故発生の防止に努める。
- (4) 受注者は従業員の過失に起因する事故などに対し一切の責任を負わなければならない。また、受注者は、業務の履行にあたり事故が生じた場合、直ちに発注者及び関係機関等に通報・報告するとともに、3日以内に書面による報告書を発注者に提出しなければならない。
- (5) 使用車両の故障、事故及びその他の不測の事態が生じた場合、運搬に支障が生じることがないように、速やかに代替車両を用意しなければならない。その際の代替車両にかかる経費は受注者が負担すること。
- (6) 受注者は、使用車両について自動車損害賠償任意保険の対人賠償保険（無制限）、対物賠償保険（1千万円以上）に加入しなければならない。

9 報告

受注者は、業務完了報告書（業務月報）を翌月の10日までに発注者に提出しなければならない。ただし、10日が土日祝日の場合には直後の平日までとする。

10 委託料の請求

委託料は各月ごとに支払うものとする。受注者は契約書にて定めた委託料を発注者に請求できるものとする。

11 秘密の厳守

受注者は、本業務の履行上知り得た秘密事項は、他に漏らしてはならない。

12 関係法令の厳守及び契約の解除

- (1) 受注者は、「道路交通法」、「千葉県ディーゼル自動車から排出される粒子状物質の排出の抑制に関する条例」及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の各種関係法令を厳守する。
- (2) 本業務は、受注者が「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」第4条第1項第1号から第3号までに定める基準に適合しなくなったときは、発注者は本契約を解除できるものとする。

13 その他

この仕様書に定めのない事項についての疑義が生じた場合、発注者と受注者で協議し、解決する。